

発達障害支援の充実を

9月定例会で結果の出た 請願・陳情

【採 择】

- 本宮町・長尾山町周辺地区の浸水対策を求める件
 - シキボウ跡地東側エリアの浸水被害に関する件
 - 久万川に面した3町内の浸水被害に関する件

【不採択】

- 平安時代初期の宮廷画家、巨勢
金岡筆の達磨大師の掛け軸の補
修に関する件
 - 2015年10月の消費税率10%への
再引き上げ中止を求める意見書
提出の件

通じて把握を行つてゐるが、その中でも1歳6ヶ月健診は、それぞれの子どもの特徴が見られ始める時期であり、重要な位置付けとしている。

発達障害のある児童生徒数は増加傾向にあり、平成25年度の県の調査によると、県内で発達障害と診断される、もしくは可能性のある児童生徒の割合は、小学校で7・8%、中学校で7・1%となっています。

また、学力や不登校等の問題の根底に発達障害が考えられるケースもあり、子ども発達支援センターへの相談件数も22年度で234人、25年度で409人と年々増加しており、小・中学校および市立養護学校の特別支援教育を充実していく必要があります。

問 発達障害の早期発見の取り組みについて聞く。

発達障害の早期発見の取り組みについて聞く。

また、保育園等での集団生活の中で課題が見られた児童につ

また、保育園等での集団生活の中で課題が見られた児童については、保護者の了解の下、加配保育士の必要性や本人の特性に合わせた関わり方や環境の整え方等を協議している。

問 保育園・幼稚園での職員の研修体制について聞く。

答 障害児保育に必要な知識等の習得および障害児への対応方法等の学習を目的として、認可保育所の加配保育士、クラス担任、園長を対象に障害児担当者研修会を実施している。25年度は11回開催し、850人の参



議場閉場式を行いました

今年度からは、こども未来部の創設により、幼稚園業務を所管しているため、かがみ幼稚園の職員も研修受講の対象としており、今後は私立幼稚園の職員も対象とすることを検討している。

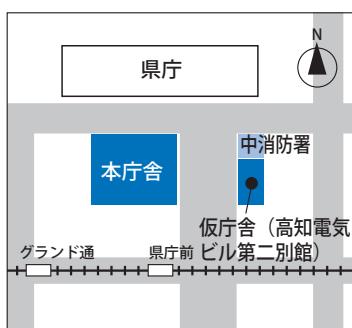
加があった。また、障害児への対応方法の学習を目的として、認可保育所全職員を対象に障害児保育研修会の2年に1度の受講を義務付けており、25年度は4回実施し

現議員と執行部に加え、市政功労者にも出席していただき議場閉場式を開催しました。閉場に当たって、山根堂宏議長、岡崎誠也市長、市政功労者を代表して杉村善夫元議長から議場の思い出が語られ、昭和33年6月の第90回定例会から、熱い議論を交わしてきた議場への別れを惜しみました。

教育研究所の機能を充実させるために子ども発達支援センターと協議し、担うべき業務の整理を検討していく。

を行つてゐる。また、学校から
の要請に対しても、教育研究所
の特別支援教育班が中心となつ
て、実態把握や知能検査の実施
等を支援している。

議会移転のお知らせ



講会事務局 会派控室
（市民クラブ・日本共産党）
議場、図書室、会派控室
（新こうち未来・新風クラブ）
ブ・公明党・みどりの会
※電話、ファックス番号は変更ありません。

本庁舎の一室解体に伴い、市議会は仮庁舎（高知電気ビル第二別館）へ移転しました。11月4日以降の本会議および委員会は、仮庁舎で行います。

移転後の配置は、次のとおりです。

**議員の寄附・あいさつ状は
公職選挙法で禁止されています**